

「今年の雪速報会 2009-10」

主催団体： NPO法人水環境技術研究会、(社) 日本雪氷学会北信越支部
(独) 防災科学技術研究所 雪氷防災研究センター

趣旨： この会は今年で 6 回目である。早い情報は新鮮味があるという意味で、毎回 70 名を越す参加者が集まっている。今冬の雪は“暖冬多雪”ではないか、と言う人もいる。確かに一時期多量の降雪があった。しかも新潟市、柏崎市、上越市など海岸地方で大雪となった。しかし、雪がやむと気温が上がり、融雪が一挙に進んだ。そのためか、雪崩も多数件発生したようである。

このように特徴ある冬であった。ひょっとすると地球温暖化傾向の下、将来を暗示する冬であったのかもしれない。この冬を振り返り、将来の雪氷防災を考える、それがこの集会である。

日時： 2010 年 4 月 21 日 (水) 13:30～17:00 (受付開始 13:10)

場所： アトリウム長岡 (長岡市弓町 1-5-1 Tel. 0258-30-1250)

参加費： (資料代) 500 円

プログラム

「道路管理者の視点から～雪崩に備える～」

須藤 弘之 : 国道交通省 長岡国道事務所 防災推進対策管

「今冬、魚沼地域で多発した雪崩」

町田 敬 (長岡技術科学大学大学院)

「雪崩予測システムについて (予想タイトル)」

平島寛行 (防災科学技術研究所雪氷防災研究センター)

「新潟地域及び全国の積雪深分布の特徴ー平成 18 年豪雪などとの比較からー (仮)」

河島克久 (新潟大学 災害復興科学センター)

「2009/10 年冬の気象循環場の特徴と日本の天候」

本田明治 (新潟大学 理学部)

「今冬、新潟県内に降雪をもたらした気象現象の特徴」

長峰 聡 (気象庁 新潟地方気象台)

「上越地方の大雪ー想定外だった“海岸に近い方が多い”ー」

渡辺伸一 (株アルゴス)

懇親会：“さらに密度の高い情報が得られます！”

時間 17:30～19:30 会費 5,000 円 (学生割引は 4000 円)

「魚藤」 長岡市表町 1 丁目 1 0 - 6 電話 0258-32-1465

今年の雪 速報会 2009-10 準備委員会

早川典生 水環境技術研究会理事長、日本雪氷学会北信越支部

佐藤篤司 防災科学技術研究所雪氷防災研究センター長、日本雪氷学会北信越支部長

石坂雅昭 防災科学技術研究所雪氷防災研究センター、日本雪氷学会北信越支部、水環境技術研究会

熊倉俊郎 日本雪氷学会北信越支部、水環境技術研究会、長岡技術科学大学

